

科目名	(一般必修)実用英語Ⅱ		英文表記	Practical English II		2014年3月5日			
科目コード	6002								
教員名:星野恵里子、名嘉山リサ、角田キャティ 技術職員名:						作成			
対象学科/専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態		
全学科			専2	必	学修	2単位	演習		
科目目標	本科5年間と専攻科1年で身につけた基礎力を基に、実践で役立つような英語運用能力を養成する。								
総合評価	評価: TOEIC IPまたは公開テストの得点40% + 小テスト20% + プレゼンテーション30% + 読書記録手帳10% 学年評価は60%以上を合格とする。								
科目目標達成度とJABEE目標との対応	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)				達成度目標の評価方法		目標割合		
	①	語彙、文法、読解力を身につけ、TOEICに対応できる英語力を養成する。(機C-5,情C-1,メC-3,生C-2)			⇒	小テスト、外部評価試験(TOEIC IPまたは公開テスト)で評価する。		60%	
	②	自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができるようにし、毎分120語程度の速度で約2分間の口頭説明や質疑応答ができる。またその内容を聴いて理解できる。(機C-5,情C-1,メC-3,生C-2)			⇒	プレゼンテーションで評価する。		30%	
	③	毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。(機C-5,情C-1,メC-3,生C-2)			⇒	読書記録手帳で評価する。		10%	
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	機械システム工学	情報通信システム工学	メディア情報工学	生物資源工学
	◎				JABEEプログラム教育目標	C-5	C-1	C-3	C-2
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合									
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック		
評価項目		0	20	0	80	100			
基礎的理解	①③		10		20	30			
応用力(実践・専門・融合)	②				20	20			
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)	②				20	20			
主体的・継続的学修意欲	①③		10		20	30			
授業概要、方針、履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広いトピックの英文を読む力をつける。</li> <li>単語テストを実施し、語彙力をつける。</li> <li>英語を聴いて理解する能力を高め、英語による表現力を養成する。</li> <li>週に5000語以上(半期で75000語以上)の多読を行い、学期末に読書記録手帳を提出すること。</li> <li>2013年3月以降のTOEIC IPテストあるいは公開テストを受験し、スコアが上がった場合は、そのスコアレポートを提出し、申告すれば度末に成績の書き換えを行います。</li> </ul>								
教科書・教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>「速読速聴・英単語 Core 1900 ver.4」(Z会出版)</li> <li>躍進する企業—時代を見抜くビジネスの先鋒(松柏社)</li> </ul>								

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時 間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	レ フ テ ィ ュ ー
1	オーラルコミュニケーション(角田)	2	シラバスを用いて授業の概要説明 リスニング、会話、プレゼンテーションなどを行い、自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができるようにし、毎分120語程度の速度で約2分間の口頭説明や質疑応答ができるようにする。またその内容を聴いて理解できるようにする。	プレゼン対策	
2	オーラルコミュニケーション(角田)	2	リスニング、会話、プレゼンテーション	プレゼン対策	
3	オーラルコミュニケーション(角田)	2	リスニング、会話、プレゼンテーション	プレゼン対策	
4	オーラルコミュニケーション(角田)	2	リスニング、会話、プレゼンテーション	プレゼン対策	
5	オーラルコミュニケーション(角田)	2	リスニング、会話、プレゼンテーション	プレゼン対策	
6	英語講読(名嘉山)	2	小テスト1(Ch17,18)や問題集の解説・解答により、語彙、文法、読解力を身につけ、毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できるようにし、TOEICに対応できる英語力を養成する。	小テスト対策 問題集予復習 TOEIC対策	
7	英語講読(名嘉山)	2	小テスト2(Ch19,20)、問題集の解説・解答	小テスト対策 問題集予復習 TOEIC対策	
8	英語講読(名嘉山)	2	小テスト3(Ch 21,22)、問題集の解説・解答	小テスト対策 問題集予復習 TOEIC対策	
9	英語講読(名嘉山)	2	小テスト4(Ch23, 24)、問題集の解説・解答	小テスト対策 問題集予復習 TOEIC対策	
10	英語講読(名嘉山)	2	小テスト5(Ch 25,26)、問題集の解説・解答	小テスト対策 問題集予復習 TOEIC対策	
11	英語講読(星野)	2	小テスト6(Ch 27,28)、問題集の解説・解答	小テスト対策 問題集予復習 TOEIC対策	
12	英語講読(星野)	2	小テスト7(Ch29,30)、問題集の解説・解答	小テスト対策 問題集予復習 TOEIC対策	
13	英語講読(星野)	2	小テスト8(Ch31,32)、問題集の解説・解答	小テスト対策 問題集予復習 TOEIC対策	
14	英語講読(星野)	2	小テスト9(Ch 33,34)、問題集の解説・解答	小テスト対策 問題集予復習 TOEIC対策	
15	英語講読(星野)	2	小テスト10(Ch 35,36)、問題集の解説・解答	小テスト対策 問題集予復習 TOEIC対策	
期末					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
期末	期末試験				
学習時間合計		30	実時間	22.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	

前期科目は前期部分のみ記述、後期部分は後期のみ記述し、実施期間が見た目すぐにはわかるようにする。(開講しない時期は空欄)

① プレゼンテーション準備	各3時間×5回
② 小テスト対策、問題集の予習復習、TOEIC IP対策	各3時間×10回
③ 多読	各1時間×15回
<b>備考欄</b>	
<p>(共通記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ この科目はJABEE対応科目である。 その他必要事項は各コースで決める。</li> </ul> <p>(各科目個別記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ この科目の主たる関連科目は実用英語 I</li> </ul> <p>その他必要事項は各コースで決める。</p>	

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)